

ここ50年間、韓国は全世界が目を見張る発展を成し遂げてきました。2009年にはOECDの開発援助委員会(DAC)に加盟することにより、援助受惠国から供与国に発展した唯一の国家となりました。

また、韓国は国際舞台でも重要な役割を果たしています。国連では潘基文事務総長が活躍しています。韓国は20カ国・地域(G20)の一員であるだけでなく、2010年11月に開かれる20カ国・地域(G20)首脳会議の開催地に選ばれ、世界的な注目を浴びています。

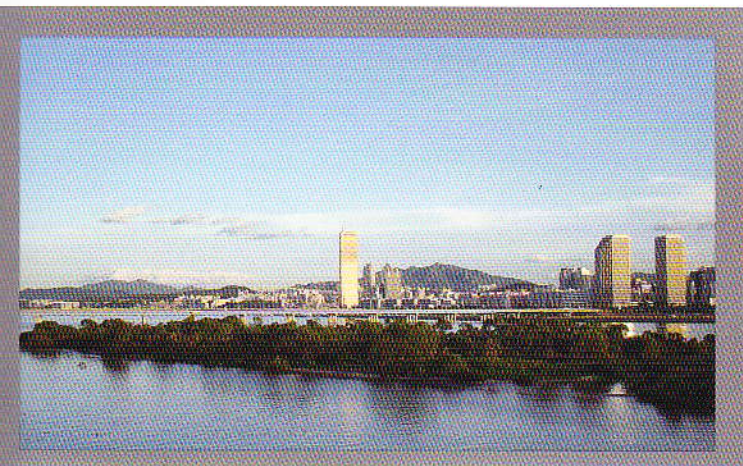
最近では、様々なメディアを通じて日本でも気軽に韓国を感じることが出来ます。しかし、実際に韓国を訪れなければ感じることでない様々な魅力があります。例えば、毎年開催される国際映画祭。釜山国際映画祭を始めとした様々な国際映画祭では世界有数の映画作品はもちろんのこと、有名監督や俳優に出会えます。また、ミュージカル『ナンタ』、『ジャンプ』、『大長今』、『南韓山城』などの公演を通じて、伝統の韓国とダイナミック・コリアを同時に味わうことができます。陶芸家沈壽官の祖国、韓国の焼物文化を鑑賞できるだけでなく、日本でも愛されるナム・ジュン・パイク(Nam June Paik)の芸術作品にも出会えます。

心を読む

最近、ハングルを使う民族が新たに増えました。科学的なハングルに魅了されたインドネシアの少数民族チアチア族が、彼らの言語を表現する公式文字としてハングルを採択したのです。このように、ハングルは優秀な文字であり、韓国語は日本人にとって非常に学びやすい優しい言語です。

韓国語は学ぶ過程が楽しいだけでなく、習得後の活用度も非常に高いといえます。まず、日本語を母語とする人々は語順や漢字の使い方が似通っているため、初級段階で自然と興味を持つことができます。また、習得後は多方面からの情報収集も可能となります。地理的に隣接している日韓両国が互いの言語を理解すれば、日韓両国がお互いを理解し合う良いきっかけとなり得るでしょう。

韓国人に愛される日本の芸術家—倉本裕基、村上春樹、江國香織、よしもとばなな—彼らの公演と作品を韓国で、ハングルで出会ってみるのも異色な経験になるはずです。

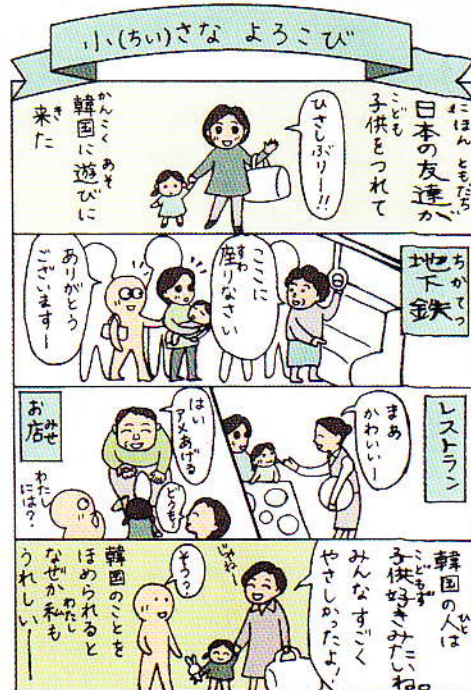


吟味する

「マッコリヌーボー」をご存知ですか。体にもよく、味も抜群の韓国伝統酒マッコリは、今年から毎年11月、新米で醸造したマッコリを解禁することになりました。今年はその初年度であったにも拘らず既に予約が殺到するほど、韓国国内外から人気を博しています。

韓国の食べ物の中で、アジアだけでなく欧米でも愛される代表的なメニューといえば何といってもコリアンバーベキューでしょう。このように今では、いつでもどこでも手軽に韓国料理を楽しむことができます。

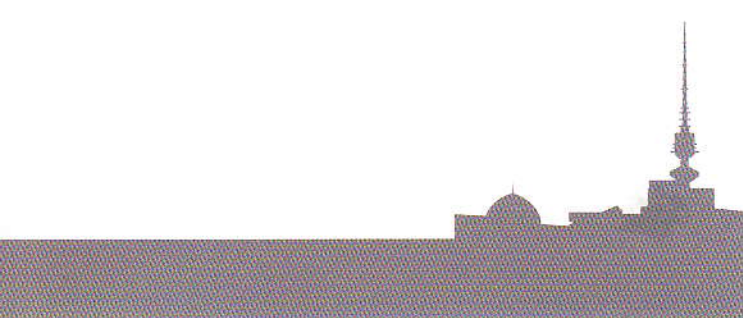
では、コチュジャンパスタを味わったことはありますか？キムチリゾットや餅ケーキはいかがですか？



想う

まだ味わったことがない、まだ目にしたことがないという皆さん。それだけで、韓国ワーキングホリデーの旅に出る理由は十分です。

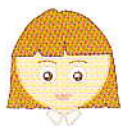
韓国観光公社公式サイト <http://www.visitkorea.or.kr>



韓国ワーキングホリデー

韓国ワーキングホリデーで韓国に滞在する間、皆さんの経験は無限に広がるでしょう。旅行はもちろんのこと、旅行費を稼ぐための付随的なアルバイト活動、語学研修まで。

ここで、韓国ワーキングホリデーを経験している二人のワーホリ経験者に会ってみましょう。



ホテルでアルバイト、語学研修、
ホットヨガレッスン受講まで幅広く
深田涼子さん

社会人生活3年目の深田涼子さん。韓国で韓国語を学びたいと決心しましたが、1日1時間半ずつ、1年間かけてゆっくりと勉強したいと考えた涼子さんは、本格的な語学研修コースに登録しなくても韓国で滞在できるビザを探しました。この涼子さんの条件にぴったり合ったビザがまさに韓国ワーキングホリデービザ。ワーホリで韓国生活を始めた涼子さんは、これまで少しずつ積み重ねてきた韓国語と英語能力を発揮できるホテルでアルバイトをしながら、仕事後は韓国語レッスンに参加しています。また、週2回ホットヨガに通い、これまでの社会人生活で溜まったストレスを解消し、余暇を楽しんでいます。週末には仁寺洞に出かけ韓国の伝統染物やメドゥプ（韓国の伝統的な飾り結び）を習います。

日本に帰国した後は、韓国のホットな情報を伝えられる雑誌エディターになるのが夢です。



マウンテンバイクで韓国一周、
韓国の友達との交流を目指す
木村剛さん

韓国語を専攻している大学3年生の木村剛さん。卒業後は、金融業界に就職して熾烈な競争の中で実力を育んでいくという将来設計を立てました。本格的な競争社会に飛び込む前に、韓国で生活しながら思う存分旅行を楽しみたいと考え、韓国ワーキングホリデーを決めました。韓国ワーホリへの参加を決めるのには、幼馴染のジョンミンの存在が大きく影響を与えました。韓国ワーホリの間は、小学校を日本で過ごして帰国したジョンミンとも再会し、彼の大学の友達とも交流を深める予定です。

また、大学のサークルでやってきたマウンテンバイクで済州島だけでなく、韓国全国の美しい山岳地帯を隅々まで旅行する予定です。そして、週末にはDMZツアー、テンプルステイ、博物館めぐりなど、様々な経験を通じて韓国に対する理解を深めていきます。

アジアの主要国の一つである韓国でのワーホリは、金融業界就職を目指している木村さんにとって最も大切な経験となり、財産となるに違いありません。

* 上記人物は実存の人物ではありません。あくまでも韓国ワーキングホリデー参加者の体験談をもとに作成されたものです。

韓国でのアルバイト

韓国ではどんなアルバイトができるでしょうか。

ワーキングホリデーの第一の目的は何と言っても文化体験。この文化体験をしながらお仕事もできる、「観光地でのアルバイト」はいかがでしょうか。

韓国語を学びましょう。韓国語が使える分、皆さんの韓国体験はより豊かになります。

ソウルグローバルセンター

<http://global.seoul.go.kr>の「Working in Seoul」

韓国生活

言語と文化の異なる韓国での生活にどう備えればよいでしょうか。

外国人のための生活支援センターが皆さんの韓国ワーホリ生活を後押しします。地域別支援センターでは韓国での生活(宿泊、交通、銀行手続き、医療サービス、携帯電話新規登録、インターネット接続、買い物、韓国語講座、習い事など)に関するありとあらゆる情報を提供致します。

ソウルグローバルセンター <http://global.seoul.go.kr>

仁川国際交流センター <http://www.icice.or.kr>

大田国際交流センター <http://www.dicc.or.kr>

光州国際交流センター <http://www.gic.or.kr>

釜山国際交流財団 <http://www.bfia.or.kr>

韓国国際交流財団 文化センター
<http://www.kfccenter.or.kr>



韓国ワーキングホリデービザ案内

韓国ワーキングホリデービザの発給要件

- ①日本に居住する日本の国民であること
- ②申請時に18歳以上30歳以下であること
- ③子供を同伴しないこと
- ④韓国滞在の主目的は観光であり、期限有効なパスポートと往復航空券を有していること
- ⑤一定期間(3ヶ月)の生計を維持するための資金を所持していること
- ⑥健康であること
- ⑦以前に韓国ワーキングホリデー制度を利用していないこと

申請に必要な書類

- ①ビザ申請書
- ②期限有効なパスポート
- ③カラー写真一枚(3ヶ月以内に撮ったもの、3.5cm×4.5cm)
- ④往復航空券のコピー
- ⑤一定期間(3ヶ月以上)の生計を維持するための資金(概ね25万円)を所持していることを証明できる残高証明書等
- ⑥旅行日程及び活動計画書(申請者本人が作成すること)
- ⑦在学証明書(休学証明書可)又は最終学校の卒業証明書

申請場所

駐日本国大韓民国大使館及び各総領事館にて韓国ワーキングホリデービザ申請を受け付けております。

駐日本国大韓民国大使館	http://jpn-tokyo.mofat.go.kr
駐横浜韓国総領事館	http://jpn-yokohama.mofat.go.kr
駐大阪韓国総領事館	http://jpn-osaka.mofat.go.kr
駐名古屋韓国総領事館	http://jpn-nagoya.mofat.go.kr
駐神戸韓国総領事館	http://jpn-kobe.mofat.go.kr
駐福岡韓国総領事館	http://jpn-fukuoka.mofat.go.kr
駐広島韓国総領事館	http://jpn-hiroshima.mofat.go.kr
駐札幌韓国総領事館	http://jpn-sapporo.mofat.go.kr
駐新潟韓国総領事館	http://jpn-niigata.mofat.go.kr
駐仙台韓国総領事館	http://jpn-sendai.mofat.go.kr

韓国ワーキングホリデーに関する詳しい情報は以下をご覧ください。

<http://www.mofat.go.kr/westwhp>

E-mail : workingholiday@mofat.go.kr